

2007-9



90巻9号 平成19年9月
社団法人 電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館内
電話 (03) 3433-6691(代) FAX (03) 3433-6669
E-mail: office@ieice.org 振替口座:00120-0-35300

目次

電子情報通信学会誌

会長	富永英義
次期会長	宮原秀夫
副会長	安田浩人
	雨宮真人
	津田俊隆
	伊藤弘昌
総務理事	萩本和男
	坂庭好一
会計理事	江村克己
	高橋達郎
編集理事	森川博之
	山本浩治
企画理事	得井慶昌
	西原明法
調査理事	喜多泰代
	花澤隆
編集長	篠田庄司
企画室長	古井貞照
規格調査会委員長	羽鳥光俊
監事	後藤敏夫
	平田康夫
基礎・境界	
ソサイエティ会長	大石進一
次期ソサイエティ会長	小林欣吾
通信	
ソサイエティ会長	吉田進一
次期ソサイエティ会長	間瀬憲一
エレクトロニクス	
ソサイエティ会長	安藤真
次期ソサイエティ会長	河内正夫
情報・システム	
ソサイエティ会長	末永康仁
次期ソサイエティ会長	畑岡信夫
北海道支部長	野矢厚
東北支部長	羽深龍二
東京支部長	喜連川優
信越支部長	島田正治
東海支部長	伊藤卓志
北陸支部長	松本忠
関西支部長	山下勝己
中国支部長	藤岡清人
四国支部長	樋口弘志
九州支部長	相川正義

巻頭言

目次前

技術+α——これからの学会のあり方について——

会計理事 江村克己

追悼抄

829

野村民也先生を偲んで

林友直

1000号記念特集「夢・創・想・感」

717

編集にあたって

編集チームリーダー 森川博之

718

1. 未来の社会を託すことができる「工学とその応用に携わる人材」の育成
ヘンリー・ダイヤーの工学教育に学ぶ 篠田庄司

721

2. 対談——技術と社会と好奇心——
技術が社会に与える影響がとて面白い

小松左京 森川博之

727

3. 発想の実現
人類の知識創造、蓄積、伝達の歴史と光技術とのかかわり

末松安晴

730

4. 脳と心の科学技術
心を読む脳型コンピュータ：情報科学技術と倫理と文明の未来

甘利俊一

732

5. 豊かな社会を実現するシンビオティックイノベーション
人と情報技術が共生する社会の構築を目指して

佐々木元

734

6. 未来社会が求める科学技術
挑戦的な課題が山積しているエレクトロニクス分野

伊澤達夫

736

7. The Key to Everything
著名な英国人研究者が語るインタフェースと偶然

Stephen ROBERTSON

738

8. 脱情報化社会のあけぼの
農産物、工業製品、情報の次に到来するものは？

青山友紀

740

9. 未来の歴史書に、今はどう書かれるか？
文化創造学としての工学と情報新大陸への期待

原島博

742

10. 技術成熟期における研究開発
基幹産業へと育った我が国のIT産業の次の発展を考えて

所真理雄

745

11. 電気通信とカーボンナノチューブ
カーボンナノチューブ発見へと結び付く研究遍歴、恩師との巡り合い

飯島澄男

747

12. 「何でもできる」システム、「何もしない」システム
「生活の質工学のマジック公式」で考える人とシステムの関係

金出武雄

750

13. アジア近隣諸国との対等なパートナー関係の確立を
グローバルからインタリージョナルへ：ITU選挙を通じて考える

井上友二

753

14. ユビキタスへの夢
「ユビキタスの木」の生長に必要な光と炭酸ガスと水

竹田義行

756

15. ネットワーク社会における情報セキュリティの理想と幻想
情報セキュリティの記事が新聞にない日はなくなった。これからの安全安心は？

松井充

759

16. 光と物質の融合技術の展開
光技術のパラダイムシフトに向けて——ナノフォトニクス——

大津元一

762

17. 学会活動を通じた教育と人材育成
放任主義と成功体験重視主義、そして学生と過ごす時間

安藤真

764

18. 小惑星探査機「はやぶさ」計画で培った技術と国内宇宙開発の展望
人類初、惑星間天体からの資料採取計画と成果の展開

「はやぶさ」プロジェクトチーム

その他

平成19年10月号特別小特集予定目次 782 図書紹介 830

国内文献目次、図書寄贈一覧 831 編集室 832 複写される方へ 会告参照

会告 後付 論文誌目次 会告後 広告目次 巻頭言前

- 766 19. 未来の乗り物を創る夢 清水 浩
未来の通勤，未来の病院，乗り物の進化が人の暮らしを幸せに
- 769 20. 対談——アンテナを張る—— 田中耕一 伊澤達夫
伝える力，電気の誇り，広い視野，そして好奇心
- 780 21. 2020年のエンジニア 嶋田憲司
親として思う，子供たちの時代の真のイノベーションに期待を寄せて
- 783 22. フォトニック結晶の進展と展望 野田 進
フォトニック結晶のこれまでと，フォトニック結晶に託す光制御の未来
- 787 23. 本当に柔らかいソフトウェア 千葉 滋
ソフトウェアの新しい時代の到来を告げる人に優しい技術の登場
- 789 24. 通信の未来を築く研究者に必要なもの 高橋 浩
日々の研究でラッキーナンバーを探していますか？——若手研究者へのメッセージ——
- 792 25. すべての人に使いやすい「アダプティブインタフェース」への挑戦 浅川智恵子
人に優しい社会を創る次世代ユーザインタフェースとは？
- 795 26. 神経デコーディングと脳を読みつなぐ技術の未来 神谷之康
心を読む技術の可能性と課題——未知の世界に思いを寄せて——
- 797 27. 人は何を計算しているのだろう 平田圭二
コンテンツ創造の不思議の構成的解明——音楽の計算機処理を通して——
- 800 28. 4分33秒 青木 恒 伏屋信宏
人間の創造性を増幅する製品を目指して
- 802 29. アートの役割と未来 馬野訓子
芸術と技術のかけ橋メディアアートの未来をのぞく
- 805 30. 未来のシナリオ——テレビドラマの変遷とこれから—— 加藤綾子
シナリオライターに聞くこれからのTVドラマ
- 807 31. 豊かな地球，豊かな心が得られる「未来」へ向けた活動 横山吉隆
本当に豊かな未来とは？——便利さ追求社会への警鐘——
- 809 32. 粗大ごみに学ぶ——哲学ある技術にあこがれて—— 南 正輝
ものを創った人が持っていた「哲学」を粗大ごみから学ぶ
- 811 33. 在宅勤務 障害を持つ情報系技術者の立場から——ITと人による支援で広がる可能性—— 中村亜矢子
障害による社会参加の壁を，ITはどれだけ崩せたか？そして課題は？
- 814 34. 自ら「創る」喜びを体験できる社会へ 五十嵐健夫
情報消費社会から情報創出・発信社会への道
- 817 35. 1対n端末モデル実現に向けたパーソナライズドリソース空間の提供 今井尚樹
日常生活に溶け込んだ究極のネットワークを創る
- 820 36. 日本における高性能な通信ソフトウェアの開発に向けての提案 登 大遊
国産ソフトの復権は未開拓な原野の開拓で

ニュース解説

- 823 磁気コアの向きを電流で反転させる技術を開発
- 824 波長分散補償を用いない20Gbit/s光信号の4,000km以上の長距離伝送に世界で初めて成功
- 826 光ディスクの再生信号出力を10倍に増幅する光学系基本技術を開発
——20dBのSN比改善により，片面200GByteの光ディスクの実現に道——
- 827 金属イオンの析出・溶解を利用した超小形スイッチの動作電圧を改善
——新材料の採用により信頼性も向上——

国際会議

- 804 The 6th NII Test Collection for Information Retrieval Systems (NTCIR) Workshop Meeting 酒井哲也
- 816 2007 Hawaii and SITA Joint Conference on Information Theory 佐藤寧洋

会誌編集委員会

編集長 篠田庄司
編集理事 森川博之・山本浩治
編集特別幹事 趙晋輝・塩本公平
平川一彦・鷲見和彦

WG・A

主査 趙晋輝
副主査 真野健・酒井哲也
委員 大田恭士・加藤浩介
小峯一晃・近藤淳
坂主圭史・周 暁
田中聡久・中里純二
中村一彦・藤芳明生
堀田裕弘・村松正吾
目黒光彦・
タンスリヤボン スリヨン

WG・B

主査 塩本公平
副主査 辻岡哲夫・中村 元
委員 青木信久・居相直彦
池川隆司・大塚昌孝
加沢 徹・笹田武志
杉山一雄・瀬高隆裕
田上敦士・藤野義之
松村宏一・村井 仁
山本全昭

WG・C

主査 平川一彦
副主査 大見俊一郎・安藤 淳
委員 石川光映・石黒仁揮
稲野 滋・井上忠宣
杉山正和・多田哲生
辻 寧英・中本正幸
檜枝護重・舟橋政樹
前田博己・松野典朗
山口雅史・山田隆宏

WG・D

主査 鷲見和彦
副主査 濱崎雅弘・奥田英範
委員 生駒洋子・石寺永記
内田誠一・神田準史郎
櫻井茂明・高野光司
武部浩明・豊泉 洋
内藤正樹・苗村昌秀
中沢憲二・湯浅真由美
湯川高志・芳澤伸一
吉田昌司

ニュース委員会

委員長 篠田庄司
幹事 平川一彦・塩本公平
委員 五十嵐 謙・岩間健宏
大久保洋幸・川村卓也
河島 整・喜瀬智文
岸根桂路・北山賢一
久保田 徹・黒木英生
鹿田 實・西海聡子
西村公佐・藤田 卓
松井裕一・宮田英之
山中秀昭

会誌に対する御意見をお寄せ下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/books/kaishiiken.html>